

令和4年4月22日

各講座等の長 殿

バイオラボセンター長（医学部長）

杉尾 健二

2022年度医学部バイオラボセンター利用登録及び カゴ台車必要台数調査について（通知）

このことについて、貴部署で医学部バイオラボセンターの利用等を希望する場合は、下記必要書類を【5月10日（火）】までに下記担当へ提出願います。

記

1 バイオラボセンターの利用登録について

バイオラボセンター内で実験台・試薬棚を使用し、長期間の実験をする際や培養実験でクリーンベンチ・安全キャビネット・CO2 インキュベーターを利用する場合は、毎年利用登録者名簿の提出が必要ですので、以下の書類をご提出下さい。

- ①別紙1（利用登録者名簿）※毎年更新手続きあり。
- ②別紙2（入退室登録）※新規登録者がいる場合のみ提出。

※バイオラボセンター①に設置してある超純水装置・オートクレーブとバイオラボセンター④に設置してある実験機器管理部門所有の超遠心機・大型遠心機・大型シェーカー・オートクレーブのみ使用する場合は、今回依頼する利用登録は不要です。

2 令和4年度（2022年度）の利用登録料金 20,000円（1名あたり・年額）

利用登録者名簿に基づき、人数に応じて課金します。利用料は後日通知します。（原則、寄付金による入金）

※年度途中で登録済の研究者が研究を終了する場合にも月割、返金はしません。また、年度当初に登録した研究者以外が年度途中で登録、研究を開始する場合には年額を課金します。

※利用登録料金には、空調設備の交換、清掃費並びに換気扇交換費等を含みます。ただし、それ以外で運営に必要な費用が生じた場合には、実費を別途課金します。

3 カゴ台車の必要台数調査について

バイオラボセンター内の整理整頓のため、利用講座毎に割り当てた上記の試薬棚及びセンター内の棚以外に物を置くことができません。センター内で使用する消耗品等のストックは、センターが設置する専用のカゴ台車でのみ利用できるものとしています。（カゴ台車は院生研究

棟1階フリーザー室に設置)については、カゴ台車を利用する場合は、以下の書類をご提出下さい。

③別紙3 (カゴ台車数調査表) ※1台10,000円。利用料金は後日請求。

4 その他徴収(課金)について

- ・フリーザー室利用料(1区画50cm×50cm 年額2,500円) …後日、使用区画に応じて請求。
- ・純水・超純水使用料(250円/一ℓ) …後日、前年の使用実績に応じて請求。

5 バイオラボセンターの運営について

利用登録する講座においては、最低1名(但し、登録者が5名を超える毎、更に1名)をラボキーパーとして選任し、『利用登録名簿』に記入して下さい。

なお、ラボキーパーは、ラボマネージャーの指示のもと、清掃、ゴミ出し、廃液、集計等、バイオラボセンターの運営に協力いただきます。

※【別添】の共通ルールを順守いただき、整理整頓を心掛けて共同利用についてご協力ください。

総務課総務第二係
桑原(内線5011)
E-mail rintiss@oita-u.ac.jp

バイオラボ共通ルールについて（利用の手引きから抜粋）

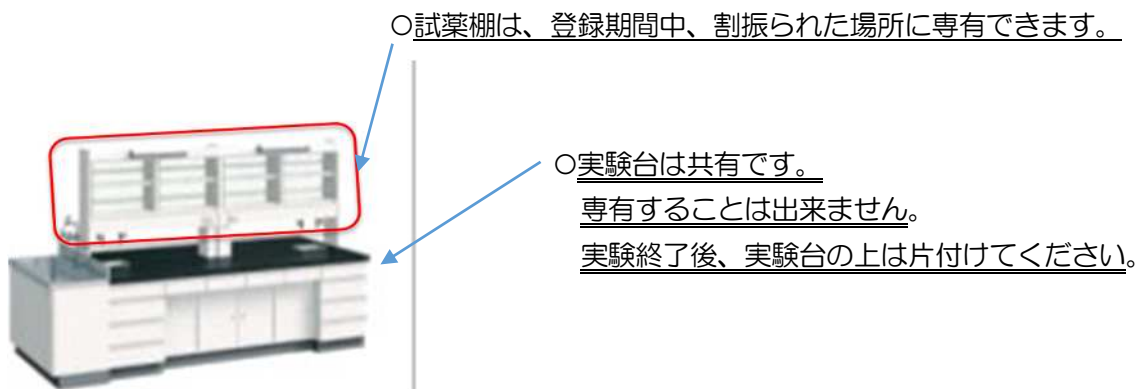
登録制度について

登録講座は実験台及び試薬棚の使用が可能となる。ただし場所はバイオラボセンター長が割振り、年度毎で変わる事もあり、恒久的ではない。

実験台について

実験者にはセンターより実験台の試薬棚が割り当てられるが、施設内にある実験台は原則全て共有である。（下図参照）

従って、自分の試薬棚の最寄りの実験台を通常使用することになるが、混雑時には互いに調整し協働して利用すること。また閑散時に広く実験台を使用することも妨げないが、実験終了後には実験台の上の個人の所有物は必ず片付けること。



カゴ台車について

バイオラボセンター内の整理整頓のため、センター内で使用する消耗品等のストックは、センターが設置する専用のカゴ台車をご使用ください。（カゴ台車は院生研究棟1階フリーザー室に設置）

